

英語の必修・選択科目と 順序性

- コミュニケーション英語Ⅰ（C英Ⅰ）◎ 4単位……1年次の必修科目
- コミュニケーション英語Ⅱ（C英Ⅱ）○ 4単位……2年次以降の選択科目
- コミュニケーション英語Ⅲ（C英Ⅲ）○ 4単位……3年次の選択科目
- 英語会話 ○ 2単位……どの学年でも選択可能
- 英語表現Ⅰ（英表Ⅰ） ○ 2単位……2年次以降の選択科目
- 英語表現Ⅱ（英表Ⅱ） ○ 4単位……3年次に選択可能

↑◎は必修科目

○は選択科目（必要ならとる）

1

学習内容(C英語)4単位

コミュニケーション英語Ⅰ ……1年次の必修科目

英語で「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の基本的なことを学びます。社会に出てから求められる「基礎学力」としての内容になります。必要な単語力も身に付けます。

コミュニケーション英語Ⅱ ……2年次以降の選択科目、C英Ⅰを修得後に選択可能

就職や専門学校への進学を希望する人が必要とするレベルの学習内容です。C英Ⅰと同様に「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を総合的に学びます。必要な単語力も身に付けます。希望者は任意で4技能型の英語検定試験に挑戦することができます。

コミュニケーション英語Ⅲ ……3年次の選択科目、C英Ⅱを修得後に選択可能

短大・大学などへの進学を希望する人が必要とするレベルの学習内容です。教材を通して、異文化理解を深めたり、状況に応じた受け答えのできる英語の技能を伸ばしたりすることができます。社会に出てからの様々な生活場面で活用できるようになることを目的とします。必要な単語力も身に付けます。希望者は任意で4技能型の英語検定試験に挑戦することができます。

進学にはC英語ⅠとC英語Ⅱと英語表現Ⅰは必須！

文系も理系も必要です。

2

学習内容(英語表現)

英語表現Ⅰ ……2年次以降の選択科目（情報処理科はC英Ⅰを修得後の選択可能）

「C英Ⅰ」で学んだ基本的な英語の文法を学び、それを使って短い英文を作ります。また、高校生の日常生活の場面を設定し、自分のことを簡単な英語で「書いたり」「話したり」する表現力を身に付けます。

大学進学を考えている人は「英語表現Ⅱ」が必要となりますので、必ず選択することをお勧めします。

英語表現Ⅱ ……3年次で選択可能、英表Ⅰを修得後に選択可能

「英表Ⅰ」で学んだことをもとに、英文法的应用的な表現やパラグラフライティングなどを学びます。身近な話題を取り上げて、自分の意見を述べたり、まとまりのある文章を書いたりします。受験に対応した問題にも取り組みます。

大学進学を考えている人、特に文系へ進む人は履修しましょう。

英語表現Ⅰは2単位

英語表現Ⅱは4単位（3年次同時履修に注意）

3

学習内容(その他)

英語会話 ……どの学年でも選択可能（情報処理科は英語1科目以上を修得後の選択可能）

日常生活の場面を設定し、周りの人と英語で会話することが中心の授業です。授業中の活動が大きく評価されるので、英語が苦手でも積極的にコミュニケーションを取る気持ちのある人なら楽しく学べる内容です。

2年次以降に履修するならば、興味のある人におすすめ！

4

学習内容(総合的な探求)

湧心方B ……2～3年次 以下の科目から、2科目以内の選択必修（2～4単位）

【英語研究】

様々な時事問題を取り扱った英文に接し、その問題点を調べ、解決に向けて、自ら感想や意見を述べる能力を育む。また、グループで英語スキットを創作して発表を通して、国際的視野を持つ人材になるための基礎を育成します。

【外国事情】

諸外国のことについて書かれた英文を読み解きながら、その文化や地理、歴史などに触れる。SDGs（持続可能な開発目標）についても学ぶ。自分が調べたい国について、テーマを設定して、調べ学習をしてポスターを作成して発表し、レポートにまとめる。国際交流イベントのボランティアを年間1回することも単位認定の条件です。

実績に使いたい人は2年次に履修しよう。

じっくりやりたい人は3年次でも可。

5